

登録コード	TSX10500	開講年度	2026				
授業科目	サステナブル建築設計学演習					担当教員	高村 秀紀
英文授業名	Exercises in Sustainable Building Design					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	修士課程1年生
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【研究科共通】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力					LCC02を削減するための建築的手法を習得する。	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					LCC02を削減する各要素のCO2削減効果を定量化することが出来るようになる。	
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力					LCC02を削減する住宅を計画できるようになる。	
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					講義時のプレゼンテーションを通して分かりやすいプレゼンテーションができるようになる。	
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					・理論的なプレゼンテーションができるようになる。 ・ほかの受講生のプレゼンテーションについて妥当性の可否を発言することが出来るようになる。	
(2)授業の概要	知識の定着化を図るために演習を行う。提出された演習については発表を行い、結果の妥当性について確認することで正しい知識として定着させる。レポート発表やディスカッションを行い、双方向の講義を行う。						
(3)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回～第3回：二酸化炭素排出原単位について 第4回～第7回：LCC02計算ツールについて 第8回～第11回：LCC02の演習 第12回～第15回：演習結果報告会・ディスカッション 第16回～第20回：CASBEEについて 第21回～第25回：CASBEE評価の演習 第26回～第29回：演習結果報告会・ディスカッション 第30回：まとめ						
(4)成績評価の方法	出席及び演習課題により総合的に判断する。						
(5)成績評価の基準	1種類の建物に対してLCC02の計算やCASBEE評価ができ、結果の考察ができれば「合格水準にある」。 2種類の建物に対してLCC02の計算やCASBEE評価ができ、結果の考察ができれば「やや上にある」。 3種類の建物に対してLCC02の計算やCASBEE評価ができ、結果の考察が十分できれば「かなり上にある」。 3種類以上の建物に対してLCC02の計算やCASBEE評価ができ、評価結果について自分の見解を提示でき、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「拓越している」						
(6)事前事後学習の内容	1 単位当たり『45時間から授業時間を引いた時間量』の自主学習時間が課せられている。 各回の授業に対し、事前事後の自主学習として、教科書ならびに関連資料の要約と講義後の復習が必要である。						
(7)履修上の注意	特になし。						
(8)質問,相談への対応	演習時間中に随時質問を受け付ける。						
(9)その他	指定しない。						
【教科書】	指定しない。						
【参考書】							